

4 大涌谷における火山ガスの測定手法の開発

[総合評価]

- ・火山ガスは自然由来の大気汚染であるが、状況によっては人命に直接関わるものであることから、社会的な重要性が高い。
- ・H27 年以来の箱根山の火山活動はマスコミでも多く報道され、社会的関心が高まったことから、本課題はそういう社会的要請に応えるための課題と位置付けられる。
- ・まだ立入禁止が一部残っていることもあり、研究だけでなく防災的な観点にも重きを置いた取り組みになっていると思われるが、貴重な情報が蓄積されているので、研究成果としてのとりまとめや対外発表も、なるべく早く進められたい。
- ・必要な研究であり、環境科学センターの強みが発揮された新しい分析手法の開発にもつなげる可能性が高い。是非、実用化や成果の発表にも力をいれていただきたい。
- ・本研究課題では、神奈川県として地域的な重要テーマである、箱根周辺での火山ガス計測について新規分析法を検討している。H₂S と SO₂ を ICP - AES を用いた定量を検討している。既存の方法は重量法など時間および精度に課題がある。今回の分析手法は、新規性が非常に高く、これまで火山ガス分析の主たる分析法とは、全くことなる手法となる。今後、精度等の検討が進み、分析手法が確立すると、神奈川県のみならず全国でも活用できる成果と判断できる。実用化に向けて、各分析条件の丁寧な検討や精度確認が重要となると考えられる。
- ・地域の問題を踏まえた神奈川県ならではの行政ニーズの高い研究テーマだと考える。火山ガスのモニタリング体制を有する他地域との連携や学会発表など、成果の普及も期待したい。

[数値的評価]

| 評価内容 | 評価項目 | 評点 | | | | |
|------------|--------|----|----|----|---|---|
| | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 課題設定の妥当性 | 背景と必要性 | 4人 | | | | |
| | 優先性 | 3人 | 1人 | | | |
| 計画の立案と実施方法 | 研究内容 | 2人 | 2人 | | | |
| | 計画の妥当性 | 2人 | 2人 | | | |
| 研究の進捗状況 | 進捗状況 | 2人 | 2人 | | | |
| 成果の展開と普及 | 目標の達成度 | 1人 | 3人 | | | |
| | 具体的な成果 | | 3人 | 1人 | | |
| | 成果の発展性 | 2人 | 2人 | | | |

5点満点（標準3点）の評点で5～1点の絶対評価